

動物班

赤塚大樹 佐藤大樹 清水拓也 中山慎太郎 水谷比呂



1. テーマ

Project Wild Animals in Gujo ～新たなプロジェクトへの第1歩～

岐阜県郡上市に棲息する動物種を知ること、郡上市の野生動物の現状を理解する。

2. テーマ設定理由

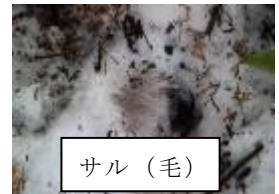
農作物の食害被害、樹皮剥ぎ被害など、野生動物の被害問題は、20年ほど前から日本中の農山村で深刻になり、社会問題となっている。そこで、郡上市において動物の種類・生態を調べ、野生動物問題の現状を把握することを目的とした。

3. 活動日程

23年1～2月	計画、フィールド調査
3～5月	センサーカメラ設置、カメラセンサス
6月	事前研究（動物について）
7月	顕微鏡で毛を見る
8月	ポスター作り
9～11月	データ整理
12月	卒論作成、岐阜大学視察



センサーカメラ設置様子



サル（毛）



シカ（糞）



イノシシの足

4. 活動内容

(1) フィールド調査

フィールド調査とは、フィールドを歩き、足跡やケモノ道、食べたものに残された食痕、毛、フンなどの痕跡（サイン）から、その場所に動物が行動していた証拠を見つけることである。

結果

- 1) 城山（多種類の動物）
 - ニホンシカ：足跡、フン、毛、ツノを発見。遭遇。
 - ニホンカモシカ：足跡、糞を発見。遭遇。
 - ニホンイノシシ：足跡、フン、獣道の発見。
 - ニホンサル：毛を発見。
- 2) 浄水場付近
 - ニホンシカ：骨を発見。
- 3) 敷地内
 - ニホンイノシシ：土壌の掘起こし箇所を発見。



イノシシの掘り起こし

(2) カメラセンサス

学校敷地内の山、城山において、学校周囲にどのような動物が棲息しているか知るために2台のセンサーカメラを設置し、延べ269日、4703枚撮影した。

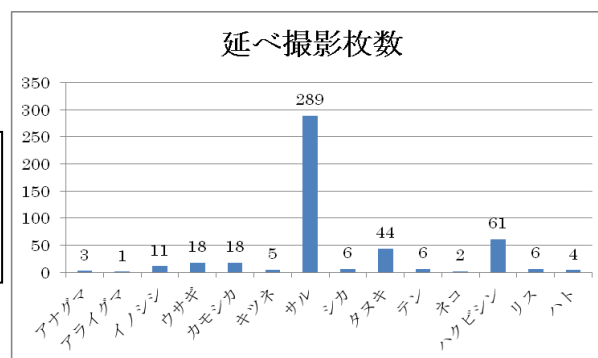


結果

計 474/4703 枚動物を撮影することができた。

<撮影動物種>

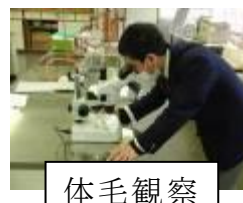
アライグマ、アナグマ、イノシシ、ウサギ、カモシカ、キツネ、サル、シカ、タヌキ、テン、ネコ、ハクビシン、リス、ハト



3 調べ学習、データ整理

調べ学習においては、文献・参考書を読み理解を深め、インターネットを用いて各種動物について調べることで、知識を深めることができた。

また、光学顕微鏡を用いて、動物の体毛を観察したが、研究精度に欠き、正確な同定には至っていない。



まとめ

動物班は、今年初めて立ち上げた班であるため、計画を立て、実施していくことが困難であった。しかし、班の仲間と協力し、先生に指導してもらいながら、計画を立て、少しずつ進めていくことに心がけた。フィールド調査においては、郡上高校に接する城山を調査地に設定し、動物種数を調べるため、どの動物の足跡・糞かを判断することができるようになった。さらにセンサーカメラを設置し撮影することにより、城山の動物種を同定することができた。また、知識を吸収するために、文献、インターネットで調べる学習に多く時間をとるとともに、11月には岐阜大学の野生動物保護管理施設を視察し、動物保護についての見識をつけるなど、外部機関との連携に心がけた。

今後の課題

現段階では、城山の野生動物種の調査ができたため、今後はそのデータをどう生かすか考えるとともに、調査範囲を広げ、郡上市全体を調査することで、新たな郡上市の特徴を発見する研究として行って欲しいです。